



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Operations Bridge Reporter

ソフトウェアバージョン: 10.00

Windows®オペレーティングシステムとLinuxオペレーティングシステム

リリースノート

ドキュメントリリース日 : 2015年 12月
ソフトウェアリリース日 : 2015年 12月

ご注意

保証

Hewlett-Packard Development Company, L.P. 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPEはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPEからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2015 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別番号が記載されています。

- ・ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ・ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ・ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを使用するには、HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID を登録するには、次の URL を参照してください。 <https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、HP Passport のログインページの [the Register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

次の HP Software サポート オンライン Web サイトをご覧ください。 <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェアのオンラインサポートでは、セルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- ・関心のあるナレッジドキュメントの検索
- ・サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ・ソフトウェアパッチのダウンロード
- ・サポート契約の管理
- ・HP サポート契約の検索
- ・利用可能なサービスに関する情報の確認

- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセスレベルに関する詳細は、以下のWebサイトにアクセスしてください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このWebサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

HPE Operations Bridge Reporterリリースノート	5
このリリースの新機能	7
レポートとデータストアの改良点	7
ネットワークコンテンツ	7
新しいContent Designer	8
OMi10のサポート	8
インストールの注意事項	10
既知の問題と制限事項	11
このリリースで修正された不具合	12
このリリースに含まれているエンハンスメント要求	14
ドキュメントに関するフィードバックの送信	15

HPE Operations Bridge Reporterリリースノート

Windows®オペレーティングシステムとLinuxオペレーティングシステム用

ソフトウェアバージョン:10.00

発行日:2015年12月

このドキュメントは、HPE Operations Bridge Reporter (OBR) に対して行われた変更の概要です。以下の情報について、このマニュアルで確認することができます。

[「HPE Operations Bridge Reporterリリースノート」\(5ページ\)](#)

[「このリリースの新機能」\(7ページ\)](#)

[「既知の問題と制限事項」\(11ページ\)](#)

[「このリリースで修正された不具合」\(12ページ\)](#)

サポート一覧表

インストールの要件および他の製品との互換性の詳細については、『HPE Operations Bridge Reporterパフォーマンス、サイズ設定および調整ガイド』および『サポート一覧表』を参照してください。

サポート一覧表には以下の情報が含まれています。

- **要件**
 - オペレーティングシステム
 - データベース
 - Webブラウザおよびプラグイン
- **互換性**
 - 仮想化製品
 - 高可用性製品

- HPソフトウェアの統合
- HPソフトウェアの共存

このリリースの新機能

OBRのこのリリースには、次の新機能が含まれています。

レポートとデータストアの改良点

- OBRに、IT環境のパフォーマンスデータの保存、処理、および管理のためのHPE Verticaデータベースが組み込まれます。
- レポートのプラットフォームとして使用されるOBR SAP BusinessObjects 4.xおよびOBR 10.00レポートが、新しいHPEユーザーエクスペリエンスによって強化されました。
- OBRで、Server AutomationおよびNetwork Automationとの統合がサポートされ、サーバーのコンプライアンスと監査データについてレポートできるようになりました。

OBRのインストール手順については、『HPE Operations Bridge Reporterインタラクティブインストールガイド』を参照してください。

設定を行う手順については、『HPE Operations Bridge Reporter設定ガイド』の「OBRの設定」および以降のセクションを参照してください。

ネットワークコンテンツ

OBRはNNMiと統合され、ネットワークパフォーマンスデータを収集します。以前のリリースのOBRでサポートされていたNNMi SPIベースの統合に加え、NNMiから直接データを収集できるようOBRを設定することが可能になりました。IT環境内のコンポーネントとインターフェイスに基づいてネットワークパフォーマンスレポートにアクセスできます。

ネットワークコンポーネントヘルスレポート

ネットワークコンポーネントヘルスレポートは、ネットワークコンポーネントに関するCPU、メモリ、バッファ、SNMP応答時間などのパフォーマンスデータを、グラフや表の形式で提供します。次のコンポーネントヘルスレポートが新しく追加されました。

- ネットワークコンポーネントヘルスのバックプレーン使用率
- ネットワークコンポーネントヘルスのバッファ使用率
- ネットワークコンポーネントヘルスのCPU使用率
- ネットワークコンポーネントヘルスのヒートチャート

- ネットワークコンポーネントヘルスのメモリ使用率
- ネットワークコンポーネントヘルスの上位および下位Nノード数
- ネットワークコンポーネントの概要

ネットワークインターフェイスヘルスレポート

ネットワークインターフェイスヘルスレポートは、ネットワークインターフェイスについて、破棄率、エラー率、インベントリ、SNMP応答時間、使用率、ボリュームレートなどの情報を提供します。

次のインターフェイスヘルスレポートが新しく追加されました。

- ネットワークインターフェイスヘルスの破棄率
- ネットワークインターフェイスヘルスのエラー率
- ネットワークインターフェイスヘルスのインベントリレポート
- ネットワークインターフェイスヘルスの概要
- ネットワークインターフェイスヘルスのSNMP応答時間
- ネットワークインターフェイスヘルスの上位および下位Nノード数
- ネットワークインターフェイスヘルスの使用率
- ネットワークインターフェイスヘルスのボリュームレート

レポートの詳細情報については、『HPEOperations Bridge Reporterレポートハンドブック』または『HPEOperations Bridge Reporterユーザーオンラインヘルプ』を参照してください。

新しいContent Designer

OBRコンテンツ開発環境 (CDE) が、より迅速なコンテンツ開発を支援する新しいユーザーインターフェイス、Content Designerにより強化されました。

詳細については、『HPEOperations Bridge Reporterコンテンツ開発ガイド』および『HPEOperations Bridge ReporterContent Designerヘルプ』を参照してください。

OMi10のサポート

OMi 10.00または10.01がインストールされている場合は、CrossOprEvent_ETL_OMi10 ETLを使用します。

OMi 10.10以降のバージョンがインストールされている場合は、CrossOprEvent_ETL_OMi10x ETLを使用します。

詳細については、『HPE Operations Bridge Reporter インタラクティブインストールガイド』を参照してください。

インストールの注意事項

インストール手順は、『HPE Operations Bridge Reporter Interactive Installation Guide』に記載されています。インストール手順にアクセスするには、以下を実行します。

1. 製品メディアで、Documentation/ja_JPディレクトリに移動し、コンテンツをシステムにコピーします。
2. OBR_Interactive_Installation.zipファイルのコンテンツを抽出します。
3. 抽出されたディレクトリから、次のファイルを開きます。
 - OBR_Interactive_Installation.htm

または、OBR_Interactive_Installation.zipファイルを以下の場所からダウンロードします。

<https://softwaresupport.hp.com/>

既知の問題と制限事項

- OBRをLinux上にインストールするときに、クロス起動メニューが表示されない場合は、SAP BusinessObjects Tomcatサーバーを再起動してください。
- ネットワークデータソースの設定後に、収集が開始されない場合は、次のサービスを再起動してください。
 - HP_PMDB_Platform_Collection

このリリースで修正された不具合

修正された各不具合の参照番号はChange Request (QCCR) 番号になります。修正された不具合の詳細については、[HPEソフトウェアサポートオンライン](#)にアクセスするかHPサポート担当者に直接お問い合わせください。

このセクションでは、このリリースで修正された不具合を列挙します。OBRコンテンツパックについて、記録された修正済み不具合のリストについては、[HP Live Network](#)で入手できる『HPE Operations Bridge Reporter Content Pack Release Notes』を参照してください。

タイトル:プラットフォーム間でBOリポジトリの命名規則に不整合があります (QCCR8D24622)

解決策:SAP BusinessObjectsの最新バージョンでは、ODBC情報が作成される構造が変更され、プラットフォーム間で整合性がとれています。

タイトル:プラットフォーム間でBO SIAの命名規則に不整合があります (QCCR8D24624)

解決策:SAP BusinessObjects 4.1では、WindowsとLinuxの両方でSIA名を変更するオプションが提供されています。プラットフォーム間で整合性のある命名がサポートされます。

タイトル:ログイン時のエラー:ユーザーには管理コンソールにアクセスするための権限がありません (QCCR8D27046)

解決策:エラーメッセージが「ログインエラー」に変更されました。『OBR10.00トラブルシューティングガイド』が更新され、このシナリオについて記載しています。

タイトル:SHRのログ記録に不整合があり、ログ解析の改善が必要です (QCCR8D35377)

解決策:標準のOBRプロセスのログ記録が同じログ記録パターンに従うように変更されました。

タイトル:SHR 9.4 LinuxインストーラーのSHR-Missing-Patches.txt file内にあるメッセージの誤字 (QCCR8D36562)

解決策:SHRスクリプトが更新され、Linuxインストーラーメッセージの該当する誤字が修正されています。

タイトル:管理コンソールがいずれのデータソースについても最後の収集の正しい日付を反映しません (QCCR8D37034)

解決策:SHR 9.32は報告された問題に対応しています。SHRをSHR 9.32にアップグレードすることをお勧めします。

タイトル:SHRライセンス取得 へのリンク - Error 404--見つかりません (QCCR8D38732)

解決策:最近の変更で、このURLは更新されています。

このリリースに含まれているエンハンスメント要求

各不具合の参照番号はChange Request (QCCR) 番号になります。保留状態のエンハンスメント要求の詳細については、[HPEソフトウェアサポートオンライン](#)にアクセスするかHPサポート担当者に直接お問い合わせください。

タイトル:LinuxでのSHR 9.4 rollback.shスクリプトで、RPMデータベースにSHR RPMが含まれないようにする必要があります (QCCR8D37339)

解決策:ロールバックスクリプトrollback-utility.shが変更され、HPPmdbおよびHPSHR rpmが削除されました。

タイトル:SHR 9.4ロールバックユーティリティが、自らの操作をログファイルにログ記録する必要があります (QCCR8D37340)

解決策:このロールバックスクリプトが変更され、自らの操作をログファイル RollbackUtilityLog.txt (Linuxの場合) およびRollback_Utility.log (Windowsの場合) にログ記録するようになりました。

ドキュメントに関するフィードバックの送信

このドキュメントに関するご意見は、電子メールで[ドキュメントチーム](#)までお寄せください。このシステムで電子メールクライアントが設定されている場合は、上にあるリンクをクリックすると、表題の行に以下の情報が付いた状態で電子メールウィンドウが開きます。

リリースノート (Operations Bridge Reporter 10.00) に関するフィードバック

電子メールにフィードバックを記入して、送信ボタンをクリックしてください。

使用できる電子メールクライアントがない場合は、上記の情報をWebメールクライアントの新しいメッセージにコピーして、フィードバックをdocfeedback@hpe.comに送信してください。

お客様からのご意見をお待ちしております。